

平成13年度制振工学研究会 講習会

損失係数測定ノウハウについて（講座と実習）
-初心者からエキスパートまで-

計測評価技術分科会 主催



平成13年7月17日



(場所：合成樹脂技術協会)

損失係数測定ノウハウについて（講座と実習）

-初心者からエキスパートまで-

制振材料の損失係数測定の基礎を学ぶと共に、制振工学研究会・計測技術分科会 2層型制振材料 J I S規格化検討WG，制振材料勉強会，構造物制振特性WGで培われた内容について解説する。

損失係数測定時の課題，テストピースの作成方法，各種試験法（片持ち梁法、中央加振法等）での測定上での注意点，測定器の使用方法等を解説する。

また，材料に充填剤や可塑剤を付加した場合の損失係数や弾性率の変化，制振材料の構造物への応用について，解説する。

さらに，測定器メーカー3社（小野測器、松下インターテクノ、リオン）が一堂に会しての同一試験片のクロスチェックを行い，測定方法や解析方法等の違いや特徴について，実習を行う。

プログラム：

(1) 10:00～12:00 測定の基礎

- ・制振材料に関する課題と対策 (財) 日本自動車研究所 井上茂
- ・各種損失係数測定法について(半値幅法，中央加振法，正規円法，極ゼロ法) 松下インターテクノ(株) 大井克洋
- ・制振材料の損失係数測定の際のFFT分析器の周波数分解能及び窓関数について 小野測器(株) 中沢貞夫
- ・試験片取り付け及び加振力の影響について リオン(株) 立石覚

昼食

(2) 13:00～13:30 制振材料の充填剤，可塑剤と制振特性

東ソー(株) 東山和康

(3) 13:30～14:30 制振材料の構造物への応用

実験とシミュレーションの比較

群馬大学 山口誉夫

(4) 14:45～17:00 計測3社による同一試験片の損失係数測定

小野測器(株)，松下インターテクノ(株)，リオン(株)